

<平成21年度の主な事業>

第6次小樽市総合計画の「まちづくり5つのテーマ」及び「元気づくりプログラム」等に基づき本年度実施した主な事業は次のとおりです。

◎＝新規 ☆＝拡大 元＝元気づくりプログラム 括弧内の金額は予算現額

A【まちづくり 5つのテーマ】

1. 心豊かに学び、地域文化を育むまち（生涯学習）

- ① 校舎等の整備 121,274千円(133,031千円)
 - ・補修の必要が生じている小中学校の校舎設備等の改修を実施
 - ・校舎等施設整備費 62,263千円(65,580千円)
 - ・◎校舎外壁改修工事費（桜小） 3,864千円(5,600千円)
 - ・◎グラウンド法面擁壁改修事業費（緑小） 2,741千円(2,999千円)
 - ・◎屋内運動場屋根改修事業費 34,612千円(40,252千円)
（高島小、奥沢小、朝里小、長橋中、西陵中、朝里中）
 - ・◎電波障害防除施設改修工事費 5,313千円(6,100千円)
 - ・校舎洋式トイレ設置事業費（小・中） 12,481千円(12,500千円)
- ◎② 長橋中学校プール上屋シート更新事業 2,384千円(3,000千円)
 - ・プール上屋シートを更新
- ◎③ 校舎耐震実施設計事業費 28,287千円(38,500千円)
 - ・平成20年度に耐震診断を行った5校について、耐震補強のための実施設計を実施
 - ・桜小、長橋小、朝里小、朝里中、銭函中
- ☆④ 情報教育等設備整備費 115,005千円(118,487千円)
 - ・教育用パーソナルコンピュータの更新
 - ・パソコン 小学校 教師用27台、生徒用270台
中学校 教師用14台、生徒用442台 合計753台
 - ・その他 プリンタ、プロジェクタ、ソフトウェアほか購入

- ☆⑤ 幼稚園就園奨励費補助金 102,792千円(103,191千円)
 - ・保護者の市民税の課税状況に応じ、保育料、入園料を減免する幼稚園に補助し、保護者負担を軽減
 - ・変更点：①補助単価の引き上げ ②第2子以降の補助割合を拡大
- ⑥ 総合博物館収蔵車両等補修事業費 1,051千円(1,051千円)
 - ・腐食、破損、塗装のはく離が進行している展示鉄道車両の補修を実施
 - ・「小樽ファンが支えるふるさとまちづくり資金基金」を活用
 - ・補修車両（郵便車、気動車（食堂車）、客車、ディーゼル機関車）
- ⑦ 重要文化財旧手宮鉄道施設修復事業費 97,345千円(97,345千円)
 - ・重要文化財旧手宮鉄道施設（機関車庫3号）の保存修理を実施
 - ・平成18年度事業着手、平成21年度完工
- ◎⑧ アイアンホース百年祭実行委員会補助金 1,000千円(1,000千円)
 - ・総合博物館所有の蒸気機関車「アイアンホース号」の誕生百周年を記念し、北海道、日本の近代化とアメリカとの関わりを再認識する事業を実施
 - ・「小樽ファンが支えるふるさとまちづくり資金基金」を活用
 - ・実施事業：アイアンホース生誕100年祭（8月8日～16日）開催
（オープニング記念式典、特別展「北海道の近代化とアメリカ」、記念コンサート、記念講演会ほか）
- ⑨ 特別展開催経費（文学館） 200千円(200千円)
 - ・「蟹工船」の時代—プロレタリア文学とモダニティ（池田寿夫旧蔵書による）（7月4日～8月9日）を開催
- ⑩ 特別展開催経費（美術館） 5,050千円(5,890千円)
 - ・①市立小樽美術館開館30周年記念「画家たちのパリ」（5月23日～7月20日）を開催
 - ・②「女流三作家のまなざし 響きあう色とかたち」（7月25日～9月22日）を開催

- ◎⑪ 社会体育施設等の整備 3,141千円(5,000千円)
- ・小樽公園弓道場屋根改修事業費 1,624千円(2,400千円)
 - ・小樽入船公園庭球場屋根改修事業費 1,517千円(2,600千円)
- ☆⑫ 放課後児童健全育成事業費 83,021千円(84,241千円)
- ・市内小学校での開設22校のうち、土曜日について、従前から通年開設している5校のほか、新たに5校で4・5月の2か月間開設

2. とともに支え合い、安心して健やかに暮らせるまち（市民福祉）

- ◎① 次世代育成支援行動計画策定経費 95千円(100千円)
- ・子育て支援を総合的に推進するために策定した「次世代育成支援行動計画」の前期計画（平成17年度～21年度）が終了するため、平成22年度～26年度の後期計画を策定
- ☆② 特別保育事業費 7,307千円(7,683千円)
- ・平成21年4月から「あおぞら保育園」で産休明け保育、延長保育、一時的保育事業を実施（決算額、予算現額はあおぞら保育園の拡大分のみ）
 - あおぞら保育園分（拡大分）
 - 産休明け保育対策費補助金 1,776千円(1,776千円)
 - 一時的保育事業費補助金 1,531千円(1,907千円)
 - 延長保育事業費補助金 4,000千円(4,000千円)
- ☆③ 母子家庭自立支援給付金支給事業費 11,309千円(11,310千円)
- ・母子家庭の母が看護師等の経済的な自立に効果的な資格取得を支援する高等職業訓練促進費について、支給期間を修学期間後半の1/2から修学全期間に拡大
 - ・支給額を103千円/月 → 141千円/月に拡大
（住民税課税世帯は51千円 → 70.5千円）
- ☆④ 妊婦・乳幼児健康診査費 62,124千円(68,378千円)
- ・妊娠に伴う経済的負担の軽減を図るため、健康診査を5回から14回に拡大、対象医療機関を市外にも拡大し実施

- ◎⑤ 歯周疾患対策事業費 186千円(302千円)
- ・高齢者の残存歯数とQOL（生活の質）・健康状態には関連があることから、歯の早期喪失を予防し、市民の健康を維持する事業を実施
 - ・対象：満40歳、50歳、60歳、70歳の市民（市民負担 570円）
 - ・内容：①歯周疾患検診 ②ブラッシング指導
 - ③プロフェッショナルトゥースクリーニング
 - ・毎週火曜日に予約制で実施

- ◎⑥ 小樽健康づくりウォーキング推進事業費 197千円(200千円)
- ・中高齢者の健康づくりには、食事・運動を中心とした生活習慣の改善が必要であることから、本市の自然を活用した健康づくり事業を実施
 - ・市内のウォーキングマップ作成

- 元◎⑦ こんにちは赤ちゃん事業費 3,618千円(3,981千円)
- ・生後4か月までの乳児のいる全家庭を訪問し、育児などの相談に応じるほか、子育てに関する情報の提供などを実施
 - ・延べ訪問回数 644回 面談数 613人

- ◎⑧ 女性特有のがん検診推進事業費 16,961千円(29,568千円)
- ・特定の年齢に達した女性に対して子宮頸がん及び乳がんの無料検診を実施
 - ・対象者に検診手帳及び検診費用が無料となるクーポン券を送付
 - ・子宮頸がん検診(20, 25, 30, 35, 40歳) 対象者数3,679人 受診者数 1,130人
 - ・乳がん検診(40, 45, 50, 55, 60歳) 対象者数5,184人 受診者数 1,533人

- ◎⑨ 新型インフルエンザワクチン接種費用負担軽減事業費 9,895千円(108,109千円)
- ・全国的な新型インフルエンザの流行に対し、国が定めた優先順位に従いワクチン接種を実施したが、このうち、生活保護受給者及び市民税非課税世帯に属する者のワクチン接種費用を助成
 - ・対象者 約25,000人 受給者 延べ2,555人

- ☆⑩ 介護保険事業
- 平成21年度は3年に1度の保険料改定のため、保険給付費・地域支援事業費等について21年度～23年度分を推計し保険料を積算ポイント
 - ①介護保険料軽減策として、介護給付費準備基金から200,540千円を繰入れ
 - ②介護報酬改定による保険料の上昇抑制のため、国庫補助による介護従事者処遇改善臨時特例基金から59,867千円を繰入れ
 - ③地域支援事業費の増、任意事業「介護用品助成事業」及び「独居高齢者等給食サービス事業」を拡大
 - ・介護用品助成事業 35,397千円(35,397千円)
 - ア 要介護4・5を要介護3～5へ拡大
 - イ 家族の同居要件を撤廃し、本人のみにも対象を拡大
 - ・独居高齢者等給食サービス事業 (一般会計) 3,497千円(3,557千円)
(特別会計) 3,195千円(3,195千円)
 - 配食ボランティアの確保と給食サービスの利用者増を図るため、地域交流会を実施
 - ・介護予防・地域支え合い事業
 - 実施内容：地域版介護予防フェア開催
 - 8月20日花園地区、10月9日銭函地区、3月20日オタモイ地区
 - 体力測定、認知症サポーター養成講座、給食サービス試食会ほか
- ☆⑪ 地域介護・福祉空間整備等交付金 53,355千円(55,791千円)
- 消防法施行令の改正により、275㎡以上1,000㎡未満のグループホームにスプリンクラーの設置義務が生じたため、必要なグループホームのうち10施設の設備整備に対し助成
(残りの施設については22～23年度の間に順次整備予定)
- ◎⑫ 介護基盤緊急整備特別対策事業交付金 105,000千円(115,000千円)
- 小規模多機能型居宅介護事業所 1施設
認知症高齢者グループホーム 3施設 計4施設
- ◎⑬ 介護職員処遇改善等臨時特例交付金 30,000千円(32,400千円)
- 上記⑫の施設等整備に当たり、施設定員数に応じ、開設準備経費を交付

- ☆⑭ 医療情報システム整備事業費 296,247千円(300,000千円)
- 小樽病院及び脳・循環器・こころの医療センターの医療情報システム整備業務の効率化と安全性の向上や待ち時間の解消による患者満足度の向上を図るため、基本オーダリングシステムを導入

3. 安全で快適な住みよいまち（生活基盤）

- ① 配水管整備及び改良工事 816,132千円(861,300千円)
- ・配水管整備工事 422,782千円(422,782千円)
市内一円配水管布設 L=8,303m
 - ・改良工事 393,350千円(438,518千円)
老朽施設等更新改良工事、奥沢送水管更新、豊倉浄水場施設・設備更新ほか
- ② 汚水管整備及び処理場・ポンプ場の更新 2,112,985千円(2,129,038千円)
- ・汚水管整備 220,393千円(236,446千円)
銭函地区布設、マンホール蓋改築更新ほか
 - ・処理場の更新（中央、銭函処理場） 1,801,421千円(1,801,421千円)
機械・電気設備、建築設備ほか
8月27日中央処理場新焼却炉運転開始
 - ・ポンプ場の更新 91,171千円(91,171千円)
勝納中継ポンプ場沈砂池設備更新ほか
- ☆③ 臨時市道整備事業費 391,800千円(400,000千円)
- ・市民生活の安全及び快適な環境の確保並びに円滑な交通を確保するための道路改良を実施
 - ・整備実施43路線
- ④ 市営住宅施設整備費 201,711千円(218,835千円)
- ・「小樽市公共賃貸住宅ストック総合活用計画」に基づき、老朽化した市営住宅の改修
 - ・塩谷E、塩谷C2、新光F53-2、祝津住宅 外壁改修ほか実施

- ⑤ 市営住宅改善事業費 76,090千円(595,783千円)
- ・「小樽市公共賃貸住宅ストック総合活用計画」に基づき、市営住宅を計画的に再生する
 - ・地上デジタル放送移行対策工事、住宅用火災警報器設置、ガス管施設改修等実施
 - ・道営若竹団地2号棟耐震・リモデル工事のうち501,030千円は平成22年度に繰越明許

- ⑥ 公営住宅建替事業費 331,414千円(398,117千円)
- ・オタモイ3号棟 3階建45戸
 - 建設工事：平成21年度着手、平成22年度完工予定

- 元◎⑦ ふるさとまちづくり協働事業推進経費 3,494千円(3,893千円)
- ・市民の創意工夫に溢れる主体的で個性豊かなふるさとづくり活動を応援し、協働によるまちづくりを進めるため、本市の活性化に寄与する団体のソフト・ハード事業に助成
 - ・選定事業 13事業
 - ・「小樽ファンが支えるふるさとまちづくり資金基金」を活用

- ◎⑧ 都市計画道路将来交通量推計調査費 2,363千円(2,600千円)
- ・北海道新幹線札幌延伸を見据え、都市計画道路等の将来交通量推計を実施

- ◎⑨ 小樽の歴史と自然を生かした地域景観づくり検討事業費 8,654千円(8,654千円)
- ・旧国鉄手宮線沿線の整備計画案を作成
 - ・良好な景観の保全を図るため、屋外広告物のデザインコードを作成

- ☆⑩ 消防署朝里出張所建設事業費 173,686千円(227,000千円)
- ・老朽化の著しい朝里出張所(昭和41年建築)を建替え
 - 1月完工、2月1日供用開始
 - 施設概要
 - ・敷地面積：785.40㎡
 - ・建物規模：鉄筋コンクリート造2階建て 延べ570.16㎡
 - ・配置車両：タンク車、ポンプ車、救急自動車

- ◎⑪ 多重債務特別相談業務委託料 324千円(324千円)
- ・多重債務者への対応として「多重債務特別相談窓口」を新たに開設
 - 相談場所：小樽市消費者センター 相談日時：毎週木曜日10:00～16:00
 - 相談件数：148件

4. 人・もの・情報が交流する活力あるにぎわいのまち（産業振興）

- ◎① 『小樽で買物』キャンペーンセール助成事業費 21,401千円(22,000千円)
- ・定額給付金の支給に合わせて、商店街等が取り組む消費者の購買意欲を増進させる事業に対する助成を実施
 - ・定額給付金の支給開始日から3か月以内に行う売り出しや販売促進活動に要する経費の9/10を助成
 - ・団体構成員数により上限額を300千円、500千円、700千円、1,000千円の4区分とした
 - ・助成団体数 43団体

- 元◎② 商業起業者支援事業費 111千円(538千円)
- ・中小企業大学校旭川校が主催する研修のうち、起業に資すると認められる研修を受講する経費及び受講後の店舗家賃の一部助成を実施
 - ・平成21年度対象者 2人
 - ・研修受講助成 対象経費の2/3以内 上限3万円/人
 - ・店舗家賃助成 対象経費の2/3以内 上限5万円/月（1年間）

- 元☆③ 地域経済交流促進事業費補助金 400千円(400千円)
- ・本市と隣接する札幌市との経済交流を促進する一環として、本市の地場産品のPRと観光情報を発信するため、展示即売会と観光PR展を開催
 - ・平成21年度は開催場所を3か所に拡大
 - 4月25～27日手稲区、6月17～22日東区、9月18～23日西区で開催

- 元◎④ 札幌臨海小樽・石狩地域産業活性化協議会負担金 750千円(1,000千円)
- ・平成20年6月に国の同意を受けた「札幌臨海小樽・石狩地域の基本計画」に基づき、指定4業種に関して企業立地を促進する事業を実施
 - ・指定4業種 ①食料品関連産業 ②物流関連産業 ③エネルギー関連産業 ④リサイクル関連産業
 - ・協議会構成 北海道、小樽市、石狩市、石狩湾新港管理組合、石狩開発株
 - ・実施事業 ガイドブック・PRDVD作成、企業立地セミナー開催、企業誘致フェア（東京）出展

- ☆⑤ 中小企業設備近代化合理化資金貸付金 617,870千円(753,873千円)
- ・中小企業者等の設備の近代化、合理化を促進するため、必要な資金の融資を実施
 - ・変更点 設備総合資金：設備等近代化資金と店舗等改善資金を統合し、設備投資に伴う土地購入費を融資対象とし、また、融資期間別に金利を設定し変動金利との選択を可能とした

- ☆⑥ 中小企業経営安定健全化資金貸付金 824,312千円(965,727千円)
- ・中小企業者等の経営の安定と健全化のために必要な資金の融資を実施
 - ・変更点 マルタル資金：融資期間別に金利を設定し、変動金利との選択を可能とした

- 元◎⑦ 観光客誘致対策費（札幌圏情報発信事業） 299千円(300千円)
- ・観光入込客数の更なる増加を図るため、本市のイベントチラシや飲食店・宿泊施設での宴会プランを紹介する小冊子を作成し、札幌圏などの企業等に配布（2回）
 - ・7月 イベントチラシ 3,000部作成 道内主要JR駅及び近隣JR駅12か所に配布
 - ・11月 宴会ガイドブック 2,000部作成 手稲区の企業や学校など133か所に配布

- 元☆⑧ 宣伝物製作等経費 3,790千円(3,790千円)
- ・観光ポスター（2,000部）、外国語マップ（40,000部）等を作成し、キャンペーンやイベントでの配布を通じ、小樽観光をPR
 - ・観光情報誌「きらっと小樽」増刷（H20:6,000部→H21:10,000部）

- 元◎⑨ 小樽ショートフィルムセッション2009開催補助金 1,000千円(1,000千円)
- ・小樽における撮影の協力体制や優れたロケーションを広く発信するとともに、FC活動の市民周知や啓発、FC活動による地域の活性化を目的としてショートフィルムコンテストを実施
 - ・応募数14作品 3月7日コンテスト開催
 - ・受賞作品はホームページなどで公開

- 元◎⑩ 地域魅力度アップ観光イベント創出事業費 880千円(1,000千円)
- ・小樽観光活性化のため、滞在時間の延長や宿泊客への時間消費型観光メニューの提供などに寄与し、観光事業者とタイアップが可能で継続性の期待できる新規観光イベントを広く公募し、選定した案件の事業費の一部を助成
 - ・助成額 予算の範囲内で事業費の1/2以内 上限 1件1,000千円
 - ・応募数 3件 選定数 3件

- 元☆⑪ ものづくり市場開拓支援事業費 1,222千円(1,600千円)
- ・市内のものづくり企業の優れた技術・製品を道内外に広くPRするとともに、市内異業種企業間の交流を図ることにより、新たな販路の開拓及び企業連携を促進
 - ・実施事業 ①冊子「小樽ものづくりの原動(プラスチック・ゴム関連)」発行 ②北海道技術・ビジネス交流会への出展 ③「小樽“ものづくり”マッチング交流会」開催

- 元☆⑫ 東アジア等・マーケット開拓事業費 2,878千円(3,000千円)
- ・中国上海市において地場産品による観光・物産展を開催し、中国における市場調査を行うとともに、輸出にかかる通関等諸手続を検証、また、対ロシアとの経済交流を促進するためのセミナーを開催

- 元◎⑬ 小樽ガラスフェア実行委員会補助金 500千円(500千円)
- ・「ガラスの街・小樽」に全国からガラス関係者が集い、ガラス工芸品の魅力と伝統技術のPRを目的として「小樽がらす市」を開催
 - ・7月24日～26日 旧国鉄手宮線を会場として実施
出展数 27工房等 来場者数約20,000人
- ⑭ 国直轄工事費負担金(北防波堤改良事業費) 44,075千円(45,000千円)
- ・平成21年度:根固工(延長170m 港外)等
 - ※国直轄事業 平成21年度全体事業費 293,833千円
- ⑮ 小樽運河浄化対策事業費 72,000千円(72,000千円)
- ・運河(南側)のしゅんせつ
 - ・平成21年度:本工事(延長 173m)
(平成19年度着工、平成21年度完工)
- ⑯ 合同庁舎周辺整備事業費 35,000千円(35,000千円)
- ・合同庁舎建替えに併せ、円滑で安全な交通動線を確認するため、臨港道路の整備を実施
 - ・平成21年度:合同庁舎前通り線 道路改良(延長220m)、測量試験一式
(平成20年度着工、平成24年度完工予定)
- ☆⑰ 姉妹都市提携委員会交付金 1,200千円(1,200千円)
- ・7月26日～30日 少女少女使節団ナホトカ市派遣(団員21人、引率8人)
 - ・10月31日～11月3日 友好都市締結答礼使節団江西区派遣(団員23人)
 - ・10月31日～11月3日 サッカー少年使節団江西区派遣(団員15人、引率6人)
 - ・2月7日～15日 ダニーデン市少女使節団歓迎事業(団員7人、引率2人)

5. 自然とまちなみが調和し、環境にやさしいまち(環境保全)

- ◎① 東小樽～銭函間海岸クリーン作戦実施事業費 165千円(200千円)
- ・漂着物やごみの散乱が目立つ東小樽～銭函間の海岸線全長11kmを、漁業協同組合、小樽建設管理部(旧小樽土木現業所)、JR北海道、日赤奉仕団、ボランティア団体等と市が協力して海岸清掃を実施

- ・実施場所 東小樽海岸、朝里海岸～張碓トンネル、張碓トンネル～恵比寿島周辺、恵比寿島周辺～銭函海岸

- ② 北海道千年の森プロジェクト植樹祭補助金 500千円(500千円)
- ・植樹活動を通じ地球環境の保全運動を進めている「北海道千年の森プロジェクト」が実施する植樹祭等への支援を実施
 - ・講演会:7月12日 会場:朝里川温泉スキー場内ガルチックハウス
講師:横浜国立大学名誉教授 宮脇 昭氏
 - ・植樹祭:7月12日 朝里ダム湖畔園地内
- ③ 廃棄物最終処分場第2期拡張整備事業費 369,253千円(437,317千円)
- 一般会計 169,475千円(200,844千円)
特別会計 199,778千円(236,473千円)
- ・平成12年7月に供用開始した廃棄物最終処分場第1期埋立地(容量:811千m³)が近年中に計画容量に達する見込みであることから、第2期拡張工事を実施
 - ・平成19年度から平成21年度までの継続事業の最終年度
 - ・面積=約29千m²、容量=約130千m³
- ☆④ ごみ収集運搬委託料、資源物分別収集事業費 351,318千円(355,552千円)
- ごみ収集運搬委託料 198,526千円(200,381千円)
資源物分別収集事業費 152,792千円(155,171千円)
- ・ごみ収集委託に引き続き、平成21年度から資源物分別収集の全部を委託し、ごみ・資源物分別収集の完全委託化を実施
 - ・冬期収集困難地区対応強化路線 7路線を加え73路線で実施
(所要額:ごみ収集2,859千円、資源物分別収集2,565千円)
- ⑤ 集団資源回収事業費 13,003千円(14,027千円)
- ・町内会等の団体が実施する集団資源回収活動に対し奨励金を交付
※奨励金のキロ単価を減額
 - ・回収団体奨励金:7月実施分から4円/kg→3円/kgへ減額
(所要額:12,525千円、影響額:1,763千円)
 - ・回収業者助成金は平成21年3月収集分をもって廃止

B【元気づくりプログラム】

(〈再掲〉と記載した事業の内容は「まちづくり5つのテーマ」に記載)

戦略1) 「情報発信の強化」による元気づくり

- ◎① ホームページリニューアル事業費 3,495千円(4,361千円)
・デザイン性や利便性の向上を図り、外国語(英語、中国語、韓国語)に対応する
などコンテンツを充実
11月20日リニューアル実施
- ◎② 観光客誘致対策費(札幌圏情報発信事業費)〈再掲〉 299千円(300千円)
- ☆③ 宣伝物製作等経費〈再掲〉 3,790千円(3,790千円)

戦略2) 「観光波及効果の拡大」による元気づくり

- ◎① 小樽ショートフィルムセッション2009開催補助金〈再掲〉
1,000千円(1,000千円)
- ◎② 地域魅力度アップ観光イベント創出事業費〈再掲〉 880千円(1,000千円)

戦略3) 「産業活動の活性化」による元気づくり

- ☆① ものづくり市場開拓支援事業費〈再掲〉 1,222千円(1,600千円)
- ☆② 東アジア等・マーケット開拓事業費〈再掲〉 2,878千円(3,000千円)
- ◎③ 小樽ガラスフェア実行委員会補助金〈再掲〉 500千円(500千円)
- ☆④ 地域経済交流促進事業費補助金〈再掲〉 400千円(400千円)
- ◎⑤ 札幌臨海小樽・石狩地域産業活性化協議会負担金〈再掲〉
750千円(1,000千円)

戦略4) 「人のふれあい促進」による元気づくり

- ◎① こんにちは赤ちゃん事業費〈再掲〉 3,618千円(3,981千円)
- ◎② 商業起業家支援事業費〈再掲〉 111千円(538千円)
- ◎③ ふるさとまちづくり協働事業推進経費〈再掲〉 3,494千円(3,893千円)
- ④ 移住促進事業経費 1,993千円(2,000千円)
 - ・専用ホームページによる情報提供
 - ・首都圏で開催されるイベント等での移住相談コーナーの設置
 - ・「おたる移住・交流推進事業研究会」と共同した移住PR活動
 - 移住相談件数(延べ)及び移住決定件数
 - ・平成17年度(7月～3月):相談59件、移住決定5件(11人)
 - ・平成18年度(4月～3月):相談47件、移住決定8件(19人)
 - ・平成19年度(4月～3月):相談25件、移住決定7件(20人)
 - ・平成20年度(4月～3月):相談42件、移住決定8件(15人)
 - ・平成21年度(4月～3月):相談40件、移住決定5件(9人)

C【その他の施策】

- ◎① 衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査費 46,506千円(50,000千円)
- ・任期満了に伴う衆議院議員総選挙及び同時に執行される最高裁判所裁判官国民審査 8月30日執行
- ◎② 自治基本条例制定検討事業経費 246千円(260千円)
- ・自治基本条例制定に向け小樽市自治基本条例懇話会を立ち上げ、自治基本条例の必要性や在り方を検討し、条例の策定に携わる策定委員会での進め方や市民周知について議論を実施
- ◎③ 定住自立圏構想推進経費 127千円(300千円)
- ・北後志地域各町村との圏域形成の協定締結に向けた取組を実施
 - ・9月15日：北しりべし定住自立圏「中心市宣言」
 - ・3月19日：「定住自立圏形成に関する協定について」を議決
- ◎④ 定額給付金給付事業費 2,180,208千円(2,216,398千円)
- ・給付対象：平成21年2月1日（基準日）に住民基本台帳及び外国人登録原票に記録されている方
 - ・給付額：基準日に①18歳以下…2万円、②19歳以上64歳以下…1万2千円③65歳以上…2万円
 - ・給付対象世帯数：68,337世帯 ・給付対象人数：137,162人
 - ・給付世帯数：67,364世帯(98.6%) ・給付人数：136,111人(99.2%)
- ◎⑤ 子育て応援特別手当支給事業費 50,381千円(50,852千円)
- ・支給対象：小学校就学前3学年の子供で、第2子以降の子供
 - ・支給額：対象となる子供1人当たり3万6千円
 - ・支給対象世帯数：1,285世帯 ・支給対象人数：1,353人
 - ・支給世帯数：1,285世帯(100%) ・支給人数：1,353人(100%)

- ☆⑥ 情報化推進事業費 13,240千円(17,386千円)
- ・機器やシステムの効率的な運用、インターネット経由サービスへの転換、機器やソフトウェアの保守期限の順守、セキュリティ対策の強化を実施し、市内LANシステムを総合的に再構築
- ◎⑦ 市独自の雇用対策 17,295千円(17,600千円)
- ・厳しい雇用情勢にかんがみ、市独自の雇用対策事業を以下のとおり実施
 - ・墓地側溝しゅんせつ事業費（中央、奥沢） 593千円(600千円)
 - ・観光施設等クリーンアップ事業費 1,780千円(1,800千円)
 - ・市内一円砂箱塗装事業費 1,922千円(2,000千円)
 - ・市内一円砂箱補充事業費 966千円(1,000千円)
 - ・街路樹剪定等事業費（街路樹及び公園内枯損木） 6,269千円(6,400千円)
 - ・港湾緑地等環境美化事業費（緑地草刈り） 788千円(800千円)
 - ・学校環境整備事業費（小・中） 4,977千円(5,000千円)
（側溝清掃、遊具塗装、樹木せん定ほか）
- ◎⑧ 緊急雇用創出事業 93,478千円(97,748千円)
- ・地域の雇用失業情勢が厳しい中で、離職した失業者等の雇用機会を創出するため、国が北海道に対し交付金を交付、道は平成23年度末までの基金を造成し市町村に補助金を交付
 - ・離職を余儀なくされた失業者等の一時的な雇用・就業機会を創出するため、以下の事業を実施
 - ・災害時要援護者避難支援プラン作成経費 8,800千円(10,401千円)
 - ・法人市民税データ整理事業費 2,516千円(2,518千円)
 - ・住居表示台帳（図面）更新事業費 15,225千円(16,635千円)
 - ・浅海資源保護管理事業費 1,977千円(2,100千円)
 - ・設備投資動向調査事業費 4,091千円(4,100千円)
 - ・祝津地区観光資源等データベース化事業費 5,827千円(5,855千円)
 - ・観光客動態調査報告書作成事業費 600千円(600千円)
 - ・土地総合活用システム基盤データ整備業務費 4,253千円(4,620千円)
 - ・市内一円草刈等清掃業務費 18,322千円(18,714千円)
 - ・公園内病害樹木処置事業費 5,880千円(6,055千円)
 - ・歴史的建造物に関する実態調査事業費 2,688千円(2,769千円)

- ・港湾施設環境美化事業費 12,484千円(12,566千円)
- ・学校環境整備事業費(小・中) 10,815千円(10,815千円)

- ◎⑨ ふるさと雇用再生特別対策事業 46,162千円(47,824千円)
- ・緊急雇用創出事業と同様に、国が北海道に対し交付金を交付、道は平成23年度末までの基金を造成し市町村に補助金を交付
 - ・地域の創意工夫で、地域の求職者等が継続的に働く場を創出するため、以下の事業を実施
 - ・独居高齢者等給食サービス事業費<再掲> 3,497千円(3,557千円)
 - ・若年者就職前実践力向上支援事業費 11,907千円(12,433千円)
 - ・地場産品インターネットショップ展開事業費 9,975千円(9,975千円)
 - ・地域工芸職人後継者育成及び
需要開拓支援事業費 13,502千円(14,540千円)
 - ・「ミュージアム・コミュニケーター」
育成・活用事業費 7,281千円(7,319千円)

- ◎⑩ 地域経済活性化等推進資金基金活用事業 23,858千円(23,900千円)
- ・平成21年度の地方交付税において、新たに「地域雇用創出推進費」が創設され、本市に交付された279,000千円のうち、261,000千円を基金に積み立て、地域の雇用維持・創出及び地域経済の活性化に資する事業に活用することとし、平成21年度は以下の事業を実施
 - ・公立保育所施設維持補修費 2,181千円(2,200千円)
 - 手宮：調理設備改修ほか 奥沢：給湯設備設置ほか
 - 長橋：洋式トイレ設置ほか 銭函：給湯設備設置
 - ・商店街年末年始大売出し支援事業費 3,000千円(3,000千円)
 - ・市場連合会販売促進活動支援事業費 2,000千円(2,000千円)
 - ・中心3商店街活性化イベント支援事業費 2,000千円(2,000千円)
 - (小樽商科大学包括連携協定関連事業)
 - ・観光物産プラザ洋式トイレ設置事業費 796千円(800千円)
 - ・上海市観光客誘致促進調査事業費補助金 1,400千円(1,400千円)
 - ・校舎洋式トイレ設置事業費(小・中)<再掲> 12,481千円(12,500千円)

D【国の経済危機対策】関連事業

国が行った追加経済対策としての補正予算関連事業について、以下のとおり実施

- ◎① 母子家庭自立支援給付金支給事業費<再掲> 11,309千円(11,310千円)
- ◎② 女性特有のがん検診推進事業費<再掲> 16,961千円(29,568千円)
- ◎③ 新型インフルエンザワクチン接種費用負担軽減事業費<再掲> 9,895千円(108,109千円)
- ◎④ 介護基盤緊急整備特別対策事業交付金<再掲> 105,000千円(115,000千円)
- ◎⑤ 介護職員処遇改善等臨時特例交付金<再掲> 30,000千円(32,400千円)
- ◎⑥ 小樽の歴史と自然を生かした地域景観づくり検討事業費<再掲> 8,654千円(8,654千円)
- ◎⑦ 地域活性化・経済危機対策臨時交付金関連事業 交付額 393,487千円
- ・地方公共団体において、地球温暖化対策、少子高齢化社会への対応、安全・安心の実現、その他将来に向けた地域の実情に応じるきめ細かな事業を積極的に実施するために措置された「地域経済活性化・経済危機対策臨時交付金」を以下の事業に活用 【金額は交付金充当額、括弧内[]の金額は事業費】
 - ・身体障害者福祉センター自動ドア改修事業費 473千円[473千円]
 - ・塩谷児童センター屋根改修事業費 2,677千円[2,677千円]
 - ・最上保育所保育室等改修事業費 1,260千円[1,260千円]
 - ・長橋保育所フェンス改修事業費 1,228千円[1,228千円]
 - ・こども発達支援センター指導室改装事業費 977千円[977千円]
 - ・公会堂正面玄関等補修事業費 2,375千円[2,375千円]
 - ・銭函市民センター体育館暖房設備改修事業費 1,328千円[1,328千円]
 - ・葬斎場駐車場横法面保護事業費 2,930千円[2,930千円]
 - ・墓地通路舗装事業費(長橋、奥沢) 6,909千円[6,909千円]
 - ・小樽病院院内トイレ等改修事業費(繰出金) 9,947千円[9,947千円]
 - ・脳・循環器・こころの医療センターロードヒーティング改修事業費(繰出金) 9,723千円[9,723千円]
 - ・夜間急病センター管理代行業務費 2,954千円[134,000千円]
 - ・勤労女性センター暖房設備改修事業費 12,600千円[12,600千円]
 - ・「おたる自然の村」中研修室改修事業費 7,238千円[7,238千円]

・「おたる産しゃこ祭」開催事業費補助金	1,000千円[1,000千円]
・於古発川店舗C棟屋根改修事業費	7,696千円[7,696千円]
・『小樽で買物』キャンペーンセール助成事業費<再掲>	2,000千円[21,401千円]
・観光施設安全対策事業費 (毛無山展望所安全柵改良ほか)	2,279千円[2,279千円]
・鯉御殿安全柵設置事業費	861千円[861千円]
・観光プロモーション推進事業費 (首都圏での観光プロモーション、東北地区への新聞広告ほか)	2,200千円[2,200千円]
・ライトアップ機器更新等事業費 (運河、日本銀行旧小樽支店、鯉御殿ほか)	2,744千円[2,744千円]
・観光案内版等改修事業費 (改修…浅草橋ほか、撤去…小樽駅前ほか)	4,522千円[4,522千円]
・旧湯鹿里荘解体事業費	21,536千円[21,536千円]
・クリスマス・シンボル事業実行委員会補助金	5,000千円[5,000千円]
・青果市場定温庫扉取替事業費(繰出金)	5,282千円[5,282千円]
・青果市場棟2階暖房設備改修事業費(繰出金)	7,980千円[7,980千円]
・青果市場構内道路舗装事業費(繰出金)	8,799千円[8,799千円]
・水産市場オーバースライダー改修事業費(繰出金)	1,995千円[1,995千円]
・小樽運河公衆トイレ改修事業費(2か所)	10,176千円[10,176千円]
・橋りょう点検委託業務費(26橋)	4,410千円[4,410千円]
・小樽駅前広場交通安全対策事業費 (バス用信号機撤去1基・新設2基、車両用信号機塗装1基)	2,474千円[2,474千円]
・道路照明改良事業費 (ナトリウムランプ化228灯)	11,939千円[11,939千円]
・市街地空洞化調査事業費(空き家・空き地調査)	1,999千円[1,999千円]
・公園照明改修事業費 (省エネルギー型照明50灯)	9,807千円[9,807千円]
・公園遊具等更新事業費	14,833千円[14,833千円]
・歴史的資源活用方策検討事業費 (手宮線活用計画策定)	1,523千円[1,523千円]
・公営住宅用途廃止事業費(繰出金) (オタモイA住宅、最上B住宅)	58,495千円[58,495千円]

・フェリー航路利用促進実証運航費補助金	20,000千円[20,000千円]
・築港臨海公園・運河公園補修事業費	386千円[386千円]
・小樽港縦貫線ほか舗装補修事業費	30,670千円[30,670千円]
・防舷材補修事業費	10,353千円[10,353千円]
・照明設備改良(マイマイガ対策)事業費	3,087千円[3,087千円]
・港湾上屋補修事業費(繰出金) (33号上屋外壁、シャッター補修)	4,980千円[4,980千円]
・校舎外壁改修事業費(桜小)<再掲>	3,864千円[3,864千円]
・情報教育等設備整備費(小・中)<再掲>	57,089千円[115,005千円]
・図書館高圧ケーブル交換事業費	1,459千円[1,459千円]
・体育施設トイレ改修事業費 (総合体育館ほか5施設の計13か所のトイレ洋式化)	2,937千円[2,937千円]
・体育施設土入替等事業費 (小樽公園運動場、からまつ公園庭球場)	6,493千円[6,493千円]

◎⑧ 地域活性化・公共投資臨時交付金関連事業 交付額 593,526千円

・地域における公共投資を円滑に実施することができるよう、地方負担の軽減を図るため、国の平成21年度補正予算(第1号)による追加公共事業の地方負担額の9割に相当する額が「地域活性化・公共投資臨時交付金」として交付され、以下の事業に活用
(交付額のうち327,822千円は22年度に繰越明許)

【金額は交付金充当額、括弧内[]の金額は事業費】

・配水管整備事業費(水道事業会計繰出金)<再掲>	60,000千円[422,782千円]
・ロードヒーティング更新事業費 (幸大通線及び高商通線)	86,900千円[86,900千円]
・汚水管整備事業費(下水道事業会計繰出金)<再掲>	40,000千円[220,393千円]
・市営住宅施設整備費(繰出金)<再掲>	73,143千円[201,711千円]
・市営住宅改善事業費(繰出金)<再掲>	5,661千円[76,090千円]